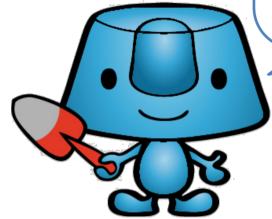


~知ろう!測ろう!つながろう!~ 市民による東日本土壌ベクレル測定プロジェクト 土壌採取マニュアル

これから 土壌採取に使う道具と、 採取の方法を解説するよ。 道具は全部なくても 出来るけど、 順番やポイントを 見ておいてネリ〜。

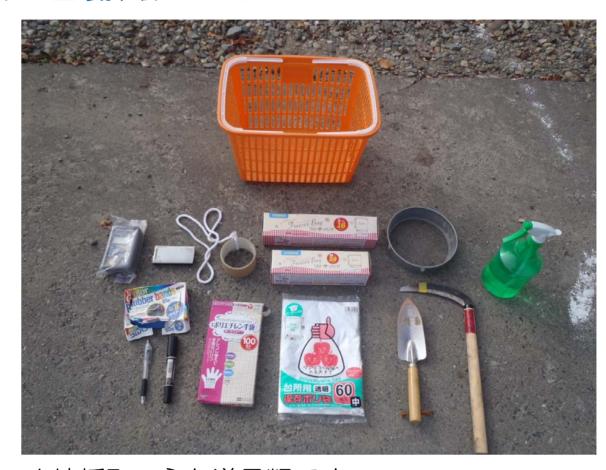


ボク、みんなのデータサイトのキャラクター 「マリネリくん」だよ。 よろしくネリー。



採取は3人いるとよいです。

- ●採取をする人
- ●野帳を記入する人
- ●写真を撮る人



土壌採取の主な道具類です。 いずれも、あらかじめ綺麗に洗って 準備しておきます。



空間線量測定器

線量計を使う時は、ビニール袋に入れて使用 してください。測定器本体に汚染土壌等が 付着し、他の場所での土壌採取時に誤測定を 防ぐことが目的です。



ガムテープと紐

ガムテープは、横にしておくと高さがほぼ 5cmです。1mの紐をつけておくと、5cm、 1mの空間線量の測定が楽にできます。



巻尺とキッチンスケール

金属製で固定の長さでロックできるタイプを持っていくと便利です。30cm定規もあるとよいです。キッチンスケールで、採取した土壌の重さを測ります。



コンパクトカメラ または 携帯など 測定の様子や、周辺の環境を写真に収める ために用意します。

他の作業を手伝うために、首からぶら下げられるようにするとよいでしょう。



ビニールマット

土をふるいにかける際の受皿(プラケース)に 荷物を詰めるとよいです。荷物になる場合は、 ビニールマットがあると便利です。 大きな100円ショップで手に入ります。



手付きのビニール袋

幅39cm×長さ49cm×マチ13cmの40号 以上のものを用意するとよいでしょう。 あまり小さいと作業がしづらいです。

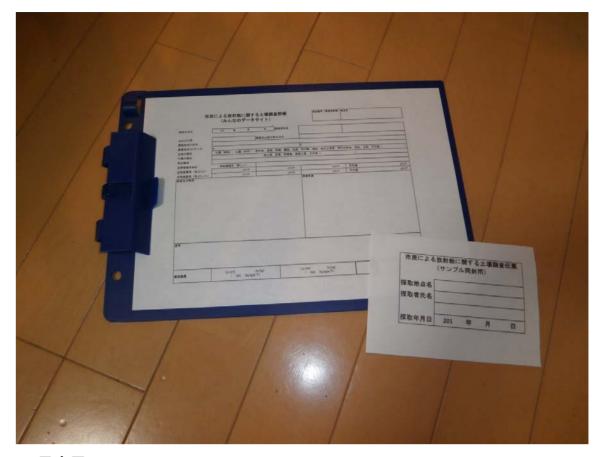


その他道具

口輪ゴム 口油性ペン・マジック

ロビニール手袋

ロフリーザーパック ロポリ袋 大きな100円ショップで揃います。



野帳 (採取時の状況等を記録する用紙) 伝票 (採取した土=検体のラベルに使用) クリップボードと共に用意します。現場では記入しづらいので、あらかじめ記入できるところは記入してから出掛けましょう。



□カマ 採取時に草を刈るのに使います。

ロシャベル 土を掘り、掬い取るのに使います。

□ふるい 小石や草の根の除去に使います。

口霧吹き等 採取後の用具の洗浄に使います。 大きな100円ショップで揃います。



採取場所の選定

採取予定地に到着したら採取場所を選定します。 雨溜りや窪地等ではなく、平地で土を採取し 易く、比較的空間線量の高い所を選ぶように します。目印等が近くにあると良いでしょう。



空間線量の測定 地上5cm

ガムテープの紙缶(5cm) に空間線量計を乗せて 線量の値を野帳に記録します。

機種毎にカウントタイムが違うので、それに 合わせて、3回測定し記録します。



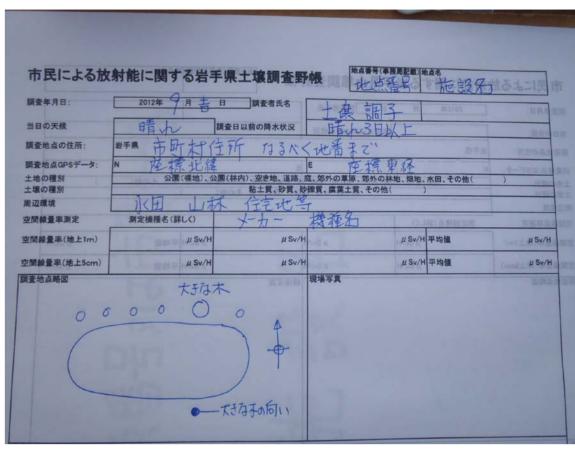
採取場所の撮影・記録保管

採取場所はマップ化で地点情報が公開されます。 慎重に選びましょう。採取場所が決まったら 白紙に地点番号と地点名をマジックで書き、 場所や目印が写るように写真を撮ります。



空間線量の測定 地上1m

ガムテープに付けたひもを伸ばした位置(1m) に線量計を合わせて、空間線量を3回測定し 記録します。



野帳の記入

現場でしか書けない情報、地点番号・ 地点名・採取地点住所・地図座標NE・ 土地と土壌の種類・周辺の環境・採取地点の 略図を目印と共に、順に記入します。



採取場所の決定

空間線量の測定が済んだら土壌を採取します。 最初におおよその場所を決めます。



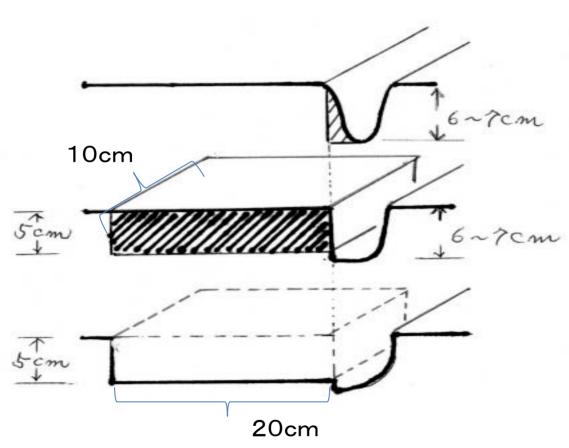
砂利を除ける グランド等の地表に、小石砂利が多い場合には 予め除けておくといいでしょう。



手袋をはめる ポリ手袋をはめます



採取開始 採取位置枠外からスコップを入れて 掘り始めます。



掘り進め方の確認

図解すると、このような形になります。 最初に枠外に、正確にお弁当箱状に掘るため の溝を掘り、その土をどけ掘り進めます。



ポリ袋の準備

ポリ袋を2重に重ねて、準備します。 1枚だと土を入れている最中に、穴が開い たりするためです。



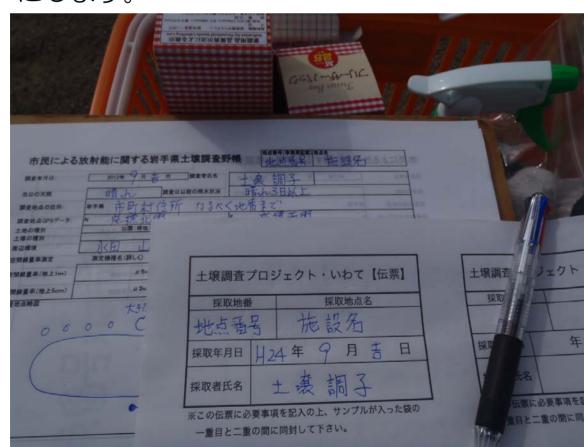
土壌の採取

お弁当箱状の四角い穴が掘れました。 10×20×5cmを掘ると、ちょうど 1リットルになります。用意した袋等に 細かく砕きながら入れていきます。



石や草の根を除ける

石や草の根が多い場所では、ふるいを使って 土を選り分け、ビニール袋やプラケース、 ビニールマットなどで受け、土のみを採るよう にします。



伝票の記入

伝票を記入します。

地点番号・地点名・採取年月日・採取者氏名を 野帳と相違のないように注意します。



袋の口を閉じる

袋の口を輪ゴムで縛ります。

この時に土の容積が適正であればいいのですが 自信がない場合には、キッチンスケール等で 重さを測り1.5~2kgである事を確認します。



検体の梱包

採取した土壌は検体です。汚染を他の場所へ 拡散させないよう、フリーザパックを使い さらに厳重に密封します。伝票が見えるように パッキングして検体の完成です!!



土を撹拌する

袋に入れたら、さらに土を揉みほぐし、撹拌 します。均等に混ぜ合わせて汚染のむらがない ようにし、すぐ測定が出来るように整えます。



片付け・採取完了

採取用具を洗浄し、使用した道具を片付けます。 土壌を採取した場所は、周りと平らになるよう 敷き埋めて、完了としましょう!!